

ストロビルリン系殺菌剤(QoI)のイネに対する使用ガイドライン

作成年月日:2008年1月15日

作成者:Japan FRAC QoI イネ作業部会

作用機構	作用点とコード	グループ名	化学グループ名	有効成分名	農薬名(例)	耐性リスク備考	FRACコード
C: 呼吸	C3:複合体Ⅲ ユビキノール酸化酵素 Qo部位	QoI 殺菌剤 (Qo阻害剤)	メキシアクリレート	アゾキシストロピン	アミスター	高 複数の耐性菌が発生。 グループ内で交差 耐性がある。	11
			オキシイミノアセトアミド	メミノストロピン	オリブライト、 イモチエース		
				オリサストロピン	嵐		

使用ガイドライン:

1. ストロビルリン系殺菌剤の使用は1作期1回を上限とする。
2. ストロビルリン系殺菌剤は作用機構の異なる殺菌剤と体系で使用する。
3. 使用方法に記載された使用量を厳守する。
4. 耐性菌が発生した場合の急速な拡散を避けるために、採種圃場ではストロビルリン系殺菌剤を使用しない。
5. 第一次伝染源となる汚染種子からの発生を防ぐため、健全種子を使用し、種子消毒を行う。
6. 苗からの伝染を防ぐため、苗いもちの発生に十分注意を払い、無病苗を使用する。
7. 圃場衛生を良好に保つために、第一次伝染源となる置苗、罹病わら、籾殻などの作物残渣をすみやかに処分する。

以上